

# エコアクション21 環境活動レポート

## 第68期

活動期間 平成28年10月1日～平成29年9月30日



発行年月日：平成29年11月10日

小西建設工業株式会社

# 目 次

	環境方針	P1
1	事業活動の内容	P2
2	6 8 期実績	P3,4
3	6 8 期及び中長期環境目標	P5,6
4	6 8 期環境活動計画	P7
5	6 8 期の環境活動計画の取組結果と評価	P8
6	次年度の取組内容	P9
7	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P9
8	代表者による評価と見直し	P9

# 環境方針

## I. 基本理念

小西建設工業株式会社は、土木工事・舗装工事・水道施設工事を通じて地球環境問題を考え、二酸化炭素の削減、電気の省エネ化やグリーン購入等の環境負荷の低減に積極的に取り組む事で、地域社会へ貢献すると共に環境保全に取り組みます。

## II. 行動指針

事業活動の中に環境経営システムを導入し、環境負荷の低減を推進していきます。

### 取組事項

- 1 (1)電気・ガソリン・軽油の使用量を減らして、二酸化炭素の排出量を削減します。  
(2)産業廃棄物の発生抑制・削減・再利用を推進します。  
(3)事業活動の中でグリーン購入を推進します。  
(4)各現場では環境に配慮した施工を行います。
- 2 事業活動に関連する環境関連法規を遵守します。
- 3 環境への理解を全社員に周知して、環境意識の向上を目指します。
- 4 県土整備事務所及び北九州市との協定により、風水災害時の緊急事態に対応します。

制定日 平成23年9月30日

改定日 平成24年12月1日

小西建設工業株式会社

代表取締役 小西 孝二

# 1. 事業活動の内容

1 事業所名 小西建設工業株式会社

2 代表者 代表取締役 小西 孝二

3 住所 本社 北九州市八幡西区折尾三丁目4番15号  
 電話番号 093-602-0122  
 Fax番号 093-601-0605  
 E-mail kouzibu@konishi-jp.com  
 岡垣支店 遠賀郡岡垣町大字海老津1047  
 遠賀支店 遠賀郡遠賀町遠賀川二丁目1812-7  
 資材倉庫 遠賀郡岡垣町大字上畑笠松

4 環境管理責任者 岡部 順一

5 連絡担当者名 小西 浩介

6 事業内容	土木工事業 とび・土工工事業 舗装工事業 水道施設工事業 石工事業 解体工事業	福岡県知事許可	(特-27)第63439	平成28年1月13日
			(特-28)第63439	平成28年12月21日

7 営業年数 68年(昭和24年10月19日設立)

8 資本金 3000万円

9 産業廃棄物収集運搬業許可 許可証を取得しているが、業として営んでいない。(自社の運搬分のみ)

10 事業規模	活動規模	単位	66期	67期	68期
	売上高	百万円	546	648	571
	従業員	人	18	18	19
	床面積	m <sup>2</sup>	165.69	165.69	165.69
	倉庫床面積	m <sup>2</sup>	112.91	112.91	112.91
	資材置場面積	m <sup>2</sup>	562.09	562.09	562.09

11 当社の事業年度 10月1日～翌年9月30日

12 認証・登録範囲 全組織・全活動

## 2. 第68期運用実績

作成者：環境管理責任者  
作成日：平成29年11月8日

### 第68期運用実績(事務所)

環境目標		単位	平成25年10月～ 平成26年9月(65期)	平成28年10月～ 平成29年9月(68期)	68期		
			(基準年度)	目標	実績		
1		二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	22,729.7	22,161.5 -2.5%	18,165.7 82.0%	達成
	1-1	電気使用量の削減	kWh	17,769.0	17,324.8 -2.5%	16,356.0 94.4%	達成
	1-2	ガソリン使用量の削減	リットル	5,179.7	5,050.2 -2.5%	3,674.6 72.8%	達成
	1-3	LPG使用量の削減	kg	26.1	25.4 -2.5%	26.9 105.7%	未達成
2		廃棄物の削減	kg	509.2	496.5 -2.5%	481.4 97.0%	達成
3		グリーン購入	品目	26品目	10品目以上	39品目	達成

1. 購入電力の排出係数は、0.584(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)で計算した。(平成26年度九州電力HP参照)
2. 基準年は、65期(平成25年10月～平成26年9月)とした。
3. 運用期間は、平成28年10月から平成29年9月である。
4. 水道使用量の削減についてはメーターがついてない為行動目標のみとする。

## 第68期運用実績(建設現場)

環境目標		単位	平成25年10月～ 平成26年9月(65期)	平成28年10月～ 平成29年9月(68期)	68期	
			(基準年度)	目標	実績	
1	二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	105,067.3	102,440.6 -2.5%	124,361.5 121.4%	未達成
	1-1 電気使用量の削減	kWh	67,893.0	66,195.7 -2.5%	18,257.0 27.6%	達成
	1-2 ガソリン使用量の削減	ℓ	9,914.9	9,667.0 -2.5%	11,831.2 122.4%	未達成
	1-3 軽油使用量の削減	ℓ	15,638.2	15,247.2 -2.5%	32,902.5 215.8%	未達成
	1-4 灯油使用量	ℓ	785.1	765.5 -2.5%	457.1 59.7%	達成
2	建設副資材のリサイクル率	%	コンクリート塊100%、アスファルト・コンクリート塊100%			
3	グリーン購入	現場	毎現場、公共事業における特定調達品目(主要資材、建設機械等)を購入する。			
4	建設騒音・振動の発生に伴う苦情	現場	毎現場、建設騒音・振動の発生を防止するとともに、これに関する苦情をゼロにする。			
6	地域貢献活動	現場	各現場、工期内に原則月1回現場周辺の清掃活動を実施する。			

1. 購入電力の排出係数は、0.584(kg-CO<sub>2</sub>-kWh)で計算した。(平成26年度九州電力HP参照)
2. 基準年は、65期(平成25年10月～平成26年9月)とした。
3. グリーン購入は、公共事業における特定調達品目(主要資材、建設機械等)とする。
4. 地域貢献活動は、各現場、工期内に原則月1回現場周辺の清掃活動を実施する。
5. 水道使用量の削減は、現場毎に水の使用用途が違うので全てを把握する事ができない為行動目標のみとする。

### 3. 第68期及び中期環境目標

作成者:環境管理責任者  
作成日:平成29年11月8日

#### 第68期及び中期環境目標(事務所)

環境目標		単位	平成25年10月～ 平成26年9月(65期) (基準年度)	69期 目標	70期 目標	71期 目標
1	二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	22,729.7	22,047.8 -3.0%	21,934.2 -3.5%	21,820.5 -4.0%
	1-1 電気使用量の削減	kWh	17,769.0	17,235.9 -3.0%	17,147.1 -3.5%	17,058.2 -4.0%
	1-2 ガソリン使用量の削減	ℓ	5,179.7	5,024.3 -3.0%	4,998.4 -3.5%	4,972.5 -4.0%
	1-3 LPG使用量の削減	kg	26.1	25.3 -3.0%	25.2 -3.5%	25.1 -4.0%
2	廃棄物の削減	kg	509.2	493.9 -3.0%	491.4 -3.5%	488.8 -4.0%
3	グリーン購入	品目	26品目	14品目以上	16品目以上	18品目以上
4	水使用量の削減	事務所	水の使用量削減を心がける。			

1. 購入電力の排出係数は、0.584(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)で計算した。(平成26年度九州電力HP参照)
2. 基準年は、65期(平成25年10月～平成26年9月)とした。
3. 運用期間は、平成28年10月から平成29年9月である。
4. 水道使用量の削減についてはメーターがついてない為行動目標のみとする。

## 第68期及び中期環境目標(建設現場)

環境目標		単位	平成25年10月～ 平成26年9月(65期)	69期	70期	71期
			(基準年度)	目標	目標	目標
1	二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	106,019.3	102,838.7 -3.0%	102,308.6 -3.5%	101,778.5 -4.0%
	1-1 電気使用量の削減	kWh	67,893.0	65,856.2 -3.0%	65,516.7 -3.5%	65,177.3 -4.0%
	1-2 ガソリン使用量の削減	ℓ	9,914.9	9,617.5 -3.0%	9,567.9 -3.5%	9,518.3 -4.0%
	1-3 軽油使用量の削減	ℓ	15,638.2	15,169.1 -3.0%	15,090.9 -3.5%	15,012.7 -4.0%
	1-4 灯油使用量	ℓ	785.1	761.5 -3.0%	757.6 -3.5%	753.7 -4.0%
2	建設副資材のリサイクル率	%	コンクリート塊100%、アスファルト・コンクリート塊100%			
3	グリーン購入	現場	毎現場、公共事業における特定調達品目(主要資材、建設機械等)を購入する。			
4	建設騒音・振動の発生に伴う苦情	現場	毎現場、建設騒音・振動の発生を防止するとともに、これに関する苦情をゼロにする。			
5	水使用量の削減	現場	各現場、水の使用量削減を心がける。			
6	地域貢献活動	現場	各現場、工期内に原則月1回現場周辺の清掃活動を実施する。			

1. 購入電力の排出係数は、0.584(kg-CO<sub>2</sub>-kWh)で計算した。(平成26年度九州電力HP参照)
2. 基準年は、65期(平成25年10月～平成26年9月)とした。
3. グリーン購入は、公共事業における特定調達品目(主要資材、建設機械等)とする。
4. 現場毎に水の使用用途が違うので全てを把握する事ができない為行動目標のみとする。
5. 地域貢献活動は、各現場、工期内に原則月1回現場周辺の清掃活動を実施する。



## 4. 68期環境活動計画

### 事務所

- (1) 二酸化炭素排出量の削減
  - 1) 電気使用量の削減
    - ① エアコンの設定温度を決め、実行する。(夏28度・冬24度)
    - ② 昼休みの消灯
    - ③ 残業時間の不要な照明の消灯
    - ④ 長時間席を離れるとき、パソコンの電源OFF
  - 2) ガソリン使用率の削減
    - ① エコドライブの励行
    - ② アイドリングストップの励行
  - 3) LPGの使用量削減
    - ① 給湯器の効率使用
- (2) 廃棄物総排出量の削減
  - 1) 紙使用量の削減、一般廃棄物の削減
    - ① 裏紙の使用
    - ② 一般廃棄物は、分別ルールに従って実施する。
    - ③ 分別したものは、適切に処理する。
- (3) グリーン購入の推進
  - 1) エコ商品の購入
    - ① 電気をLEDに順次移行していく。
    - ② 事務用品の購入(14品目以上)
- (4) 水使用量の削減
  - 1) 事務所での水の使用量を削減する
    - ① 水を出し放しにしない
    - ② 節水に努める

### 建設現場

- (1) 二酸化炭素排出量の削減
  - 1) 電気使用量の削減
    - ① エアコンの設定温度を決め、実行する。(夏28度・冬24度)
    - ② 不要な照明の消灯
  - 2) 灯油使用量の削減
    - ① 不要な暖房の節約
  - 3) 軽油使用量の削減
    - ① 重機の燃費向上(アイドリングストップ)
    - ② 重機・車両の適性空気圧の整備
- (2) 廃棄物の削減(建設副資材のリサイクル率)
  - 1) リサイクル率の向上
    - ① 分別の徹底
    - ② 再利用・再生利用の推進
- (3) グリーン購入
  - 1) 各現場、公共事業における特定調達品目(主要資材、建設機械等)を調達する。
    - ① 資材(高炉セメント等)
    - ② 建設機械(排ガス規制車等)
- (4) 建設騒音・振動の発生に伴う苦情
  - 1) 建設騒音、振動の発生を低減し、苦情の発生をなくす。
    - ① 低騒音型建設機材の検討・採用
    - ② 作業工程の工夫等影響の最小限化
- (5) 水使用量の削減
  - 1) 現場での水の使用量を削減する
    - ① 水を出し放しにしない
    - ② 節水に努める
- (6) 地域貢献活動
  - 1) 地域との協調
    - ① 建設現場周辺の清掃
    - ② 河川清掃、海岸清掃等

## 5. 68期の環境活動計画の取組結果と評価

### 事務所

#### (1) 二酸化炭素排出量の削減

事務所では、二酸化炭素排出量は目標の排出量より18%減となった。  
その理由は、HV車使用による燃費が向上しガソリン使用量が減った事が考えられる。

#### (2) 廃棄物総排出量の削減

事務所での廃棄物の排出量は、目標の排出量より3%減だった。  
その理由は、事務所での仕事でのコピー用紙の使用量が減った為だと考えられる。  
事務所での裏紙使用の意識が向上している。

#### (3) グリーン購入

##### 1) エコ商品の購入

電球の在庫が無くなっていないので、LEDに移行できていない。  
在庫がなくなり次第LEDに移行していく。

##### 2) 事務用品の購入

コピー用紙、ファイル、文房具等を39品目購入した。引き続き購入していく。

### 建設現場

#### (1) 二酸化炭素排出量の削減

現場では、二酸化炭素排出量は21%増だった。  
これは、ガソリン使用量と軽油使用量が大幅に増加した為だと考えられる。  
それは現場での移動(会社～現場)距離が遠かった事と重機の使用量が増えた為だと考えられる。

#### (2) 廃棄物の削減(建設副資材のリサイクル率)

1) 発生抑制の為、設計図書の照査及び打合せの徹底をする。  
2) リサイクル率の向上  
コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊ともに100%リサイクルであった。

#### (3) グリーン購入

1) 高炉セメントを使用した。  
2) 排ガス対策車を使用した。

#### (4) 建設騒音・振動の発生に伴う苦情

1) 建設騒音、振動の発生を低減し、苦情が生じないようにした。  
苦情の発生はなかった。  
今後とも、隣接住民との工事概要説明等を行い理解を密にしていく。

#### (5) 地域貢献活動

地域ボランティア、河川、海岸、保安林美化活動等へ参加した。  
各現場、工期内に月1回現場周辺の清掃活動を実施した。その結果は、工程会議で報告した。

## 6. 次年度の取組内容

### (2) 第69期の取組内容

#### 1) 事務所

- ①CO<sub>2</sub>の削減は、基準年(第65期)に対して3.0%の削減とします。
- ②廃棄物の削減は、第65期をもとに3.0%の削減とします。
- ③グリーン購入は、事務用品14品目以上購入します。
- ④水を出し放しにせず、節水に努めます。

#### 2) 建設現場

- ①CO<sub>2</sub>の削減は、基準年に対して3.0%の削減とします。
- ②廃棄物の削減は、建設副産物のリサイクル率コンクリート塊100%、アスファルトコンクリート100%とします。
- ③グリーン購入では、公共事業における特定調達品目(主要資材、建設機械等)を調達します。
- ④建設騒音・振動の発生を防止するとともに、これに関する苦情の発生をゼロにするように努めます。
- ⑤水を出し放しにせず、節水に努めます。
- ⑥地域貢献活動として、各現場、工期内に原則月1回現場周辺の清掃活動を実施します。

## 7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規の遵守状況をチェックの結果、違反はありませんでした。  
尚、関係当局より違反の指摘、利害関係者からの訴訟等も過去5年間ありませんでした。

## 8. 代表者による評価と見直し

### (1) 評価

- 1) 事務所のCO<sub>2</sub>削減は達成となりました。このことは、ガソリンの使用量が減った為だと考えられます。これは、昨年HV車を購入しガソリンの燃費が向上しがガソリンの使用量が減った事だと思います。
- 2) 現場のCO<sub>2</sub>削減は、未達成となりました。今年度も、重機の使用数が増えた為軽油の使用量が増え現場での二酸化炭素排出量が増えたからだと思います。会社と現場までの距離が遠くガソリン使用量も増えた事も一因だと思います。しかし、現場までの距離を選んでいては仕事は取れないので、一概に今年度の結果を悪いとは言えないと思います。

### (2) 見直し

- 1) 社員の環境意識の向上を図るため、工程会議を活用します。
- 2) CO<sub>2</sub>の削減・廃棄物の削減・グリーン購入の推進は、継続して実施します。
- 3) 現場では、事故をなくし、苦情をなくし、手もどりをなくすように指導します。
- 4) 事務所、現場ともに未達成部所の意識の高揚につとめて目標達成につとめる。(毎月の工程会議の場にて発表する)